

昭和60年度 第14回世論調査「高齢化社会」について

調査の目的

本調査は、「高齢化社会」について、市民の意識・評価・要望などを把握し、基礎資料とすることを目的とした。

調査の設計

1. 調査地域 富士市全域
2. 調査対象 富士市在住の満20歳から80歳までの男女
3. 標本数 3,000人
4. 抽出方法 住民基本台帳から等間隔無作為抽出
5. 調査方法 郵送調査
6. 調査期間 昭和61年3月

回収結果

1. 発送数 3,000人(100.0%)
2. 回収数 1,575人(52.5%)
3. 有効回収数 1,553人(51.8%)

集計表

◆高齢化社会について

問9 高齢化社会になったとき、問題になるとしたらどのようなことだと思いますか。

番号	選択肢	パーセント
(1)	病気	27.7
(2)	国民年金などの公的年金の支給率が低下する	27.0
(3)	老人ホームなど福祉施設の整備	6.5
(4)	年寄りの生きがい	15.4
(5)	中・高年者の就職	11.4
(6)	家族との同居、扶養の心配	8.3
(7)	その他	0.5
(8)	わからない	0.6
(9)	未回答	2.7
	計	100.1

問10 老後になって子供と同居したいですか、それとも別居したいですか。

番号	選択肢	パーセント
(1)	同居したい(している)	63.9
(2)	別居したい(している)	16.6
(3)	わからない	17.1
(4)	未回答	2.4

計	100
---	-----

問10-1 同居したいと答えた方に伺います。同居したい理由は何ですか。

番号	選択肢	パーセント
(1)	子どもや孫と楽しい生活がしたいから	58.2
(2)	親子と一緒に住むのは当然だから	25.2
(3)	老後経済的に自立する自信がないから	4.2
(4)	病気の時不安だから	10.1
(5)	その他	1.0
(6)	わからない	0.1
(7)	未回答	1.2
	計	100

問10-2 別居したいと答えた方に伺います。別居したい理由は何ですか。

番号	選択肢	パーセント
(1)	別々に住む方がお互いに気楽だから	80.8
(2)	家が狭いから	4.2
(3)	経済的に自立する自信があるから	3.8
(4)	子どもがいやがると思うから	3.4
(5)	その他	3.4
(6)	わからない	0.4
(7)	未回答	3.8
	計	99.8

問11 老後の生活資金として、国民年金、厚生年金などの公的年金にどのくらい頼りたいと思いますか。

番号	選択肢	パーセント
(1)	生活費の全部	24.6
(2)	多少はその他の収入を見込み、大部分は年金で	45.5
(3)	その他の収入と年金が半々くらい	18.0
(4)	年金以外の収入を主にする	5.4
(5)	年金には全く頼りたくない	1.8
(6)	わからない	3.0
(7)	未回答	1.8
	計	100.1